

市民と考える美術シンポジウム

私たちのまちに 美術館が 生まれる。 何かが始まる。

講演



建畠 哲

草間彌生美術館館長
詩人・美術評論家



峯村敏明

市川シビエ会会長
美術評論家

美術館は、どんな作品を残し、どんな展示を行い、未来へと何を伝えていく場所なのでしょうか。
「美術館はどんな存在であるべきか」を皆さんと一緒に語り合います。

2025年(令和7年)11月2日(日)

13:30~16:00(開場 13:00)

会場 | 全日警ホール(市川市八幡市民会館 | 〒272-0021 市川市八幡4-2-1)

参加 | 無料・要申込(300席限定)

当日参加も可能ですがお申込みされた方が優先となりますので入場をお断りする場合もございます。予めご了承ください。

主催 | 市川シビエ会(旧称 市川市に美術館を要望する会) お問い合わせ先 ichikawacivie@gmail.com

共催 | 市川市 市川市教育委員会 後援 | 市川市文化振興財団 市川商工会議所

参加申込

定員になり次第、締め切りとなりますので、お早めにお申込みください。
以下のQRからどうぞ。



山崎製パン
ご来場者全員
プレゼント

>|||< 市川シビエ会

美術シンポジウム開催趣旨

初めの基調講演では、市川シビエ会会長・峯村敏明から、美術作品・美術家の事例をもとに「美術館に入る美術・入らない美術」という問いかけからスタートします。続いて第1部では、2026年開館予定の川口市立美術館で初代館長を務める建畠哲氏をゲストにお迎えし、多くの美術館館長を歴任してきた経験から「地域に生きる美術館の役割と未来」についてお話しいただきます。第2部では、これらの講演を受け、私たちの地域や市民にとって、ふさわしい美術館の姿を共に考える機会にいたします。



Guest Speaker

講演「地域に生きる美術館とは？」

建畠 哲 | Akira Tatehata

詩人、美術評論家。1947年京都生まれ。早稲田大学文学部卒業。国立国際美術館、埼玉県立近代美術館館などの館長や、さらに全国美術館会議会長、京都市立芸術大学、多摩美術大学などの学長を歴任。ヴェネチア・ビエンナーレ日本館、横浜トリエンナーレ、あいちトリエンナーレの芸術監督をつとめるなど、多くの国際芸術祭にかかわってきた。現在は草間彌生美術館、京都芸術センターなどの館長。2026年には川口市立美術館初代館長となる。詩人としては高見順賞、萩原朔太郎賞などを受賞している。

基調講演「美術館に入る美術・入らない美術」

クリスト夫妻に代表される、美術館に収まらない美術はどうして発生したのか。また、そうしたオフ・ミュージアムの動向が浮上したにも関わらず、どうして旧来の絵画や彫刻が今日にまで生き残って、優れた作品を産み続けてきたのでしょうか。20世紀全体と日本の現代美術の状況に精通する本会会長が広い視野から時代を通観します。



峯村 敏明会長

「市川シビエ会」について

これまで「市川市に美術館を要望する会」として活動してきましたが、2024年に市川市で美術館設立に向けた「美術館構想室」が開設され、具体的な動きを見せたことを受け、私たちの会も「要望」から「応援・協力」へと姿勢を進化させました。その思いを表す言葉として「市川市美へ」という希望の動きを込めた表現から着想し、「市川シビエ」と名付けました。未完成な響きではありますが、それは市民とともに歩むという過程的な印象を保ちつつ、よりよい美術館の実現に向けた模索と関与の意欲が込められています。やがて馴染み、愛される名になることを願っています。

【プログラム】

13:00 開場

13:30 基調講演

「美術館に入る美術・入らない美術」
峯村敏明ークリスト等を取り上げて

14:15 第1部 建畠 哲 講演

「地域に生きる美術館とは？」
聞き手 峯村敏明 司会 嘉藤笑子

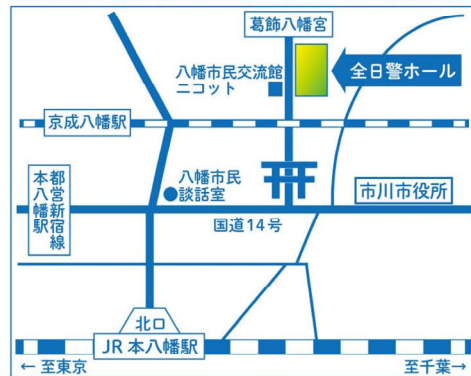
休憩

15:10 第2部 意見交換会

「私たちのまちに美術館がある未来」
市民と共にかたちを描く

16:00 終演

会場 | 全日警ホール(市川市八幡市民会館)



- ・JR総武線本八幡駅北口約10分
- ・都営新宿線本八幡駅から徒歩約8分
- ・京成線京成八幡駅から徒歩約5分

〒272-0021
市川市八幡4-2-1



Googleマップ

お問い合わせ先 | 市川シビエ会事務局
参加お申し込みは以下連絡先からも承っております。
メール ichikawacivie@gmail.com
Tel 090-7231-0443(遠山)

>|||< 美術館は発見と出会い
市川シビエ会

公式YouTubeで他講演会動画配信中！



公式LINEのご登録を お願いします！



美術勉強会 1

映画上映会／講座

「クリストとジャンヌ＝クロードのしごと」

講師

峯村 敏明 市川シビエ会会長・美術評論家

嘉藤 笑子 市川シビエ会理事・武蔵野美術大学講師

都市や自然環境の風景を一変してしまうほどの巨大プロジェクトを数多く制作してきたクリスト夫妻が手掛けたプロジェクトのドキュメンタリー映画上映と解説を通して学ぶ勉強会を開催します。クリスト夫妻が手掛けてきた野外プロジェクトは、終了後に跡形もなく消えていくものですが、その強烈な作品の印象は記憶に留まり続けていきます。彼らの仕事を学ぶことで20世紀美術の広がりや真意を学ぶ機会としましょう。

2025
11.21 金
16:00-18:50

プログラム内容

【上映作品】

「ヴァレーカーテン」 1972／28分

「ランニング・フェンス」 1976／58分

監督：ディヴィット・メイズルス
アルバート・メイズルス

上映作品は全て日本語字幕付き。

講師陣のレクチャーは60分程度予定しています。

場 所 メディアパーク市川 グリーンスタジオ
市川市鬼高1-1-4 生涯学習センター内

参加費 無料

定 員 100名

主 催 市川シビエ会

後 援 市川市・市川市教育委員会・市川市文化振興財団

協 力 アートショップ・ストアフロント

お申込み・お問い合わせ
はこちらから



【注意事項】

・当勉強会の録画・録音・撮影を行うことを固く禁じます。
・当会で撮影された勉強会の模様はメディア、SNSなどで掲載される可能性があるほか、広報活動で使用される場合がございます。予めご了承ください。

>III< 美術館は発見と出会い
市川シビエ会